

みんな



ファンを増やそう

団体の抱える課題のひとつに資金調達（ファンドレイジング）があります。資金調達には、団体を支えるファンの存在が見えてきました。今号では「ファン＝資金調達」の関係性についてお伝えしていきます。

資金の向こうに見える

ファンの存在



「てとて」代表の後藤さん（左から2人目）。主催したアートワークショップにて

応援したくなる団体とは

皆さんの団体の資金はどんなところから集まっていますか。会費・寄付、補助金、イベントなどの事業収入や受託収入といったところでしょうか。会費・寄付や補助金などの支援型の資金は「社会を良くしたい、変えたい」という活動であるからこそ、支援者の思いがこもって団体に届きます。

活動に興味を持った人がお金という形で支援したいと思った時、そこには団体への信頼が生まれています。ニーズに合わせた活動、目的や目標・活動内容などの情報発信、資金提供してくださった方への感謝の気持ちをお忘れなさい。それらが信頼につながる、ファンとして「この団体を応援したい」と思ってもらえるのではないのでしょうか。

つながりを大切に

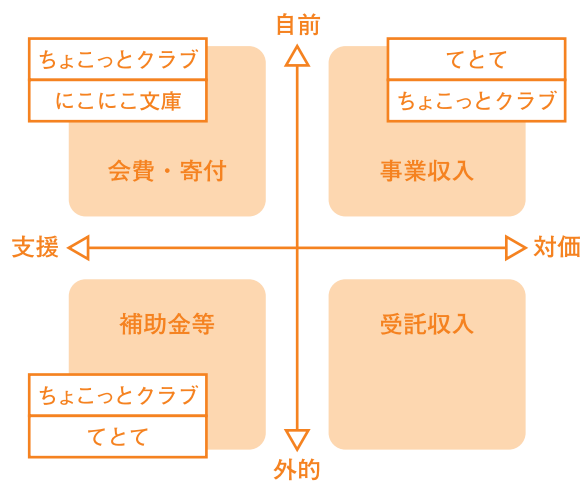
「ここにこ文庫さとの子会」代表の窪ケイ子さん。「親子で本に親しんでもらいたい、子育て世代のお母

さんの力になりたい」と平成25年からもねの里の自宅を開放して文庫を開いています。資金面で支援をするのは、約35名の地域の賛助会員です。窪さんは「最初は利用者だったお母さんたちが、今ではスタッフとなつて活動している人もいます。読み聞かせやパネルシアターなどやりたいことを学び合う姿はとても頼もしく、お母さん同士のつながりも深まりました。この力が新しい仲間や支援してくれる方につながると信じています。皆さん、頼りになる大切な存在です」と目を細めます。

「てとて」つながる支援の輪」

代表後藤裕紀さんは、平成31年から「発達に課題のある子ども、ない子どもみんな一緒に育ちあってほしい」と講演会やワークショップを開催し、みんなが安心できる社会づくりを目指した取り組みを行っています。活動する上で大切にしていることをお聞きすると「まずは人と人がつながること。※コラボ四街道に採択され、ニーズに合わせた事業が信頼を得て人の輪が広がりました。するとお金は自然に集まってきました。今後は参加者がファンとなり、やがてスタツフとしてつながっていくような活動を目指しています。

各団体の現在の資金調達モデル



※コラボ四街道

地域課題の解決を目的とした市民団体等の取り組みに対し、市が補助金等の支援を行う制度

連絡先

ここにこ文庫さとの子会
住所：四街道市もねの里3-10-8
電話：090-4719-0747（窪）

てとて～つながる支援の輪～
電話：090-4520-5804（後藤）

ファンは、地域住民

連絡先

ちょこっとクラブ

住所：四街道市千代田5-60-2

電話：090-4022-4530（松浦）



ボール体操、体幹トレーニング、脳トレなどにも挑戦中

「ちょこっとクラブ」は高齢化の進む千代田地区で「地域のことは地域で解決しよう」と平成27年に立ち上がりました。スポーツなどを通じ、地域に住む人の健康づくりを目指し活動しています。コロナ禍の補助金は、道具の購入などの基盤整備や広報に充て、運営は会費で賄えるような仕組みづくりをしています。「スポーツは誘いやすく、人と人がつながるにはとても適しています」と会長の松浦由紀子さんは話します。会員のニーズに合わせて「健康体操」「スポーツ吹き矢」や「ママ☆エクササイズ」など多彩なプログラムを提供しています。新規会員のためには無料体験期間を設けるなど、誰もが気軽に参加できる工夫もしています。さらに運動の指導者も地域の人材が担うなど、顔の見える運営、安心して参加できる環境づくりを心がけています。

昨年9月、ちょこっとクラブは、地域の皆さんが気軽に立ち寄り、交流を楽しむ場所として新たに「ちょこっとサロン」をオープンしました。運動やイベントなどで毎日利用できる

ファンづくりのすすめ

今号は団体運営における資金調達という視点で、団体の資金に関する考えや取り組みについて取材をしてきましたが、そこにはさまざまな形の「ファン」の存在が見えてきました。

団体を支える「ファン」とはどんな人をいうのでしょうか。団体が提供するサービスを受けるために会費等を払って活動に参加するファン、団体の理念や考えに共感してボランティアとして活動を応援するファン、「この団体の活動、いいね」と人に伝えることもファンと言えるかもしれません。今号で取り上げた団体の皆さんは、ニーズをしっかり捉え感謝の気持ちを大切に、ファンの心を掴む環境づくりをしていました。

団体が「社会を良くしたい」という活動を続けるために資金調達を考えることは、必要不可欠です。そのためには資金の向こうにいるファンを想像し、理解や共感を得ていくアプローチが大切です。そのアプローチが実を結んだ先に、豊かな地域が実現していくのではないのでしょうか。

あなたの団体もファンを増やしませんか。

「プレイサロン」と地域のボランティアスタッフに支えられながら週3回開いている「カフェルーム」があります。運動だけではなく、おしゃべりできるサロンを通して、「心の健康づくり」にも取り組んでいます。当初会員は30名ほどでしたが、今では150名を越えています。運営資金の柱となる会費収入は、公民館や集会所などの会場費や講師料、保険料のほか会員のお楽しみ会にも使



ちょこっとサロンを支えるボランティアスタッフ

われており、運営は順調です。地域のファンに支えられているこの場所は、皆さんの笑顔であふれていました。

📌 ピックアップ①

ファンドレイジング講座 ～共感を得て活動資金を募るには～



ファンドレイジング・ラボ
<http://fundraising-lab.jp/>

2月22日、ファンドレイジング・ラボ代表の徳永洋子さんを講師に迎え「市民団体のためのファンドレイジング講座～共感を得て活動資金を募るには～」を開催しました。さまざまな分野の団体から約30名の参加があり、資金調達への関心の高さが伺えました。

講座前半は「MITAS（満たす）の法則」をキーワードに団体が「寄付」を継続して得るためにすべきことを学びました。支援の輪は支援者のMoved（感動）、Interest（関心）、Trust（信頼）、Action（行動）Share（共有）を繰り返しながら広がっていきます。

後半は、団体の活動を知らない人に

伝えたいことをギュッと詰めた「紙芝居」を作成。支援のきっかけとなる「Moved（感動）」に必要な団体のエピソードを具体的に表すため、「いつでも 誰にでも団体のことを紹介しよう」というワークを行いました。これは団体の誰もが活用できるツールとして利用できそうです。

ファンドレイジング（資金調達）は資金を集めることだけが目的ではなく、その団体の活動と人がつながることが重要です。共感の輪が広がり、地域の課題解決がなされるために「人に伝える」ことの重要性を学んだ3時間でした。

📌 ピックアップ②

みんなでポジティブ「ぼやき座談会」 オンラインVer.



3月12日、センター初の試みであるオンラインアプリを使った「みんなでポジティブぼやき座談会 オンラインVer. ～今を言葉にしよう～」を行いました。

新型コロナウイルスの影響で落ち着かない日々が続いています。皆さんが感じていることや不安などをポジティブな言葉で「ぼやき」合うことで非常時に必要な支援や、私たちが目指す未来が見えてくるかもしれない、と開催しました。

参加者は、スタッフを含め8名。先が

見えないことによる不安、「不要不急」をどのように捉えたらよいか、子どものストレス、日頃から地域とつながっていることの大切さなどが参加者から上がりました。思いを話すことで気持ちが楽になった方も多かったようです。また「オンライン会議は初めてでしたが活動の幅が広がりそう」「子どもが小さくても参加できてよい」などの声がありました。

今後もオンラインでの取り組みを行う予定です。興味のある方はぜひご参加ください。

📌 おしらせ

市民団体スキルアップ講座 「市民団体の寄付集め」を 開催します

2月に開催したファンドレイジング講座に続いて、これから寄付集めを始めようとしている団体を対象に講座を実施します。寄付集めの基礎を理解し、団体の規模・状況に合った方法で、一步を踏み出しましょう。

日時：①6月20日（土）13：30～16：30

②7月4日（土）13：00～15：30（終了後、個別相談あり）

場所：四街道市文化センター会議室 ①203号室 ②207号室

内容：①講義「寄付を集めるということとは」「支援者の集め方」事例紹介ほか

②ワークショップ 団体の現状を把握し、自分たちのできることを洗い出す

講師：関雄（せきゆう）さん（ファンドレイザー）

※参加費無料、要申し込み（電話またはメールで。定員30人、先着順）。

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、延期などの可能性があります。

みんなで24号

表紙の写真：「にこにこ文庫さとの子会」代表、窪さん（右端）とスタッフ。
お気に入りの絵本とともに

編集・発行：四街道市みんなで地域づくりセンター（四街道市政策推進課分室）

発行日：令和2年6月1日 発行部数：4500部

所在地：四街道市大日396 四街道市文化センター1階

開館日時：火・金 9：00-20：00 / 土9：00-17：00（休館は日・月・祝日・年末年始）

電話：043（304）7065 メール：info@minnade.org